

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	札幌市立清田緑小学校 第3学年 120名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（社会、総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック、パラリンピックに関する知識を学び、スポーツ選手のエピソード等を通して、スポーツの意義や価値等に触れる機会の充実を図る。
5 取組内容	○指導計画【7時間扱い】 <調べ学習> PC使用 ※2時間 ・社会科で学習した札幌市について、資料やビデオ視聴を利用して詳しく調べ、自分の興味・関心にもとづいて調べる。 <オリエンテーション> 見学に向けての事前学習 ※1時間 ・札幌オリンピックミュージアムについて、興味・関心をもたせる。 ・オリンピックやパラリンピックについて、またスポーツ選手のエピソードやスポーツの種目について学ぶ。 <札幌オリンピックミュージアム見学> ※4時間 ・展示品及び大倉山ジャンプ競技場の見学、冬季スポーツの体験コーナーの利用、スポーツ選手の講話等を通して、オリンピックについての知識や札幌オリンピックに関わる歴史等について学ぶ。 ○取組の様子
	 



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 札幌オリンピックミュージアムの施設見学や展望台の見学を通して札幌オリンピックの開催によって札幌のまちが発展したことを学ぶことができた。 カーリングの小笠原選手の講話を聞く機会をいただき、「オリンピック」を身近に感じることができた。
<p>7 実践において工夫した点</p>	<p>「見学」という体験を児童の今後の興味や関心、意欲へとつなげていくために、オリンピックやスポーツに関わるタイムリーな話題を随時、普段の授業の中で提供した。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東部地震後のスケジュールの調整が大変であった。 ※見学の予定が流れたために、その後の学校行事や学年の活動との調整が必要であった。 「見学」がメインであったために、児童の課題意識や目的がそこに集中してしまい、深い学びへとはつながらなかった。
<p>9 今後の取組について</p>	<p>今回の事業が次年度も継続するのであれば、本校の総合的な学習の時間に位置付け、どの学年で、どのような目標をもって、何をしていくのかという見通しをもった学習計画を立てていきたい。</p>